

市民と野党の共闘で政治を変えよう！

# 市民連合@くしろ・ねむろ NEWS

2021年09月23日

NO. 3

随時発行します。

連絡先:〒085-0033釧路市若松町17-17-202 (岸本方)☎080-5595-7022 工藤☎090-1528-0946

## 9/5市民と野党の共闘でチェンジ！国政市民集会開催



### 市民と立憲4野党は協力して 統一候補実現を目指そう！

市民と野党の共闘で国政の転換を目指す「市民連合@くしろ・ねむろ」は9月5日、釧路市生涯学習センターで市民集会を開きました。講演や野党代表の意見表明があり、参集した約50人の市民やインターネット参加の人々が耳を傾けました。その中で、課題となっている野党統一候補の擁立について、日本共産党釧路地区委員会の石川明美副委員長は「統一候補の実現でこそ、自公政権を終わらせることができる。その実現に全力で取り組む」と決意を述べ、注目されました。

コロナによる非常事態宣言の中での集会であることから無観客開催とし、Youtubeによるインターネット配信やビデオ会議アプリzoomでの参加を呼び掛けた開催となりました。それでも会場に足を運ばれる市民の方々には、ソーシャル・ディスタンスに配慮して参加いただきました。

集会ではまず、主催者を代表して工藤和美共同代表が「国民を置き去りにする自公政権を終わらせることが我々の一番の課題。思想家ルソーは言っています。`人々は議員を選挙するときだけ自由で、その後は奴隷だ` そうであってはいけないわけで、近づく総選挙では、市民と野党の共闘で統一候補を擁立、国政を転換し我々に政治を取り戻しましょう」と力強くあいさつしました。

### 川原茂雄市民の風・北海道共同代表 が選挙情勢を詳しく解説

続いて札幌から駆け付けた「市民の風・北海道」共同代表の川原茂雄さんが「迫る衆議選！市民と野党の共闘実現に向けて」と題して講演しました。突然の菅首相の自民党総裁選への立候補取りやめについては「コロナ対策の失敗、オリンピック・パラリンピックの強行開催などで支持率が低下、自民党内からも見放され政権を投げ出した」と結論付け「追い詰めたのは国民世論と市民と野党の共闘の力」だとし「4月の本道・長野・広島の前選、8月の横浜市長選挙での勝利は、野党がまとまれば勝てる、バラバラだと負けることを端的に示した」と強調しました。

肝心の市民と野党の共闘については「中央レベルで近く進展がみられるはず。そうすると地方でも共闘協議が進むだろう」とした上で、全国の選挙区情勢を説明しました。

▽競合する選挙区=立憲と共産で71人、立憲と国民で2人、立憲と社民で3人、立憲とれいわで13人、共産と国民で11人、共産とれいわで12人、国民とれいわで2人。

ただ、3つの原則▽現職優先▽共闘で勝てる選挙区は候補を統一▽それ以外は各党が切磋琢磨—ということで市民と政党間の合意ができれば「一気に統一候補が実現するのでは」と期待感を示しました。道段階での市民と野党の共闘については「政策合意などで統一候補の実現を目指す」とし、



4つの政策目標を掲げました。▽安保法制の廃止、改憲阻止、立憲主義と民主主義の回復を目指す▽新型コロナウイルス感染問題への緊急対応をすすめる▽権力の私物化を許さず、政治とカネの問題を徹底究明する▽国民の命と暮らしを守るために、市民と野党の共闘で政権交代をはかり、日本の政治の流れを変える。8月末に「市民の風・北海道」は、各党（立憲・共産・社民・国民・れいわ）に共闘を要請。9月1日には各党の幹事長・書記長会談で協議の推進を確認。これを受け市民の風は、共同街宣や議員との懇談、シンポジウムなどで機運を盛り上げ「できるだけ早く共闘と政策の合意、選挙協力体制の確立を目指す」と説明しました。次いで道内各選挙区での野党の状況を説明しました。▽立憲=12の小選挙区すべてに候補を擁立。比例については小選挙区の候補者について順番を付けず並立とする

▽共産=小選挙区の3、4、5、7、9、12区で擁立、比例は小選挙区と重複で畠山さんと伊藤さんを立てる。▽社民=小選挙区は立てず、比例で豊巻さんを擁立。▽国民=小選挙区は立てず、比例で山崎さんを擁立。▽れいわ=小選挙区は立てず、比例で門別さんを擁立

また、各選挙区での市民と野党との共闘の状況は

▽立憲と共産が競合していない区=1、2、6、8、10、11

▽立憲と共産が競合している（しそうな）区=3、4、5、7、9、12

本道全区での統一候補の実現については「すべて立憲の候補で、ということにはならない。共産党は対等・平等の共闘関係を求めており、小選挙区の6人の候補をすべて降ろすことは考えていないと思う」と競合区ができることも想定、切磋琢磨を強調しました。しかし、統一候補の実現に向け各区の市民の会は「立候補予定者との懇談・対話。共闘・政策協定づくりの推進。候補者の支援体制の構築。有権者への働きかけなど積極的に取り組んでいただきたい」と強く訴えた。

最後に「市民連合@くしろ・ねむろ」について「昨年来、共同街宣など各種取り組みを展開しており、全道で模範的な運動」と評価しました。

## 立憲民主党・共産党・社民党・新社会党 の各代表が提言でアピール

講演の後、各党の代表が市民と野党の共闘について提言を行いました。要旨は次の通りです。

▽立憲民主党道7区総支部・しのだ奈保子代表=弁護士として人権や貧困問題などに取り組んできたが、個々の対応では限界があることを感じてきた。そこで政治を志すことを決意した。子育てや老後など誰もが安心して生活できる社会の実現を目指し、日本の端から市民と野党の共闘で政治地図を塗り替えていきたい。



▽日本共産党釧根地区委員会・石川明美副委員長=安倍がそして菅が政権を投げ出して、コロナの最中に権力闘争に明け暮れている。政治は国民の暮らしと命を守ることにある。自公に政権を任しておくことはできない。市民と野党の共闘で自公を打倒しよう。そのためには小選挙区での野党統一候補が必要。その実現に全力で取り組む。ただ、共闘は一方的ではなく、対等・平等、そして本気であることが求められる。統一候補の実現でこそ、自公政権を終わらせることができる。

▽社会民主党釧根支部連合・宮田まどか代表=命を切り捨てる政治が行われている。菅首相は総裁選撤退の理由として「コロナ対策に全力」と言ったが、オリンピック・パラリンピックを強行しておいて、今さら何を言っているのか。コロナウイルス対策は「検査」「隔離」「治療」が基本だが、何一つ満足にやってこなかった。市民と野党の共闘で政治の流れを変えよう。

▽新社会党釧路支部・横田厚委員長=菅首相の政権投げ出しは、市民と野党の運動による世論の成果だ。各補選、横浜市長選での勝利は、地道な努力による共闘の賜物だ。迫る総選挙で野党統一候補を擁立するためには「妥協」と「辛抱」が必要。実現に向けて積極的に協議を進めるべきだし、我々も取り組む。また、わが党としては全国で政党要件を獲得するために全力を挙げる構えだ。 End



2021年(令和3年)9月6日(月曜日) 北海道新聞

「野党共闘で政権交代を」  
釧路 市民団体が集会



野党共闘を訴えた「市民連合@くしろ・ねむろ」の集会

次期衆院選の道7区(釧路・根室管内)で野党候補統一を目指す市民団体「市民連合@くしろ・ねむろ」は5日、釧路市内で集会を開いた。市民団体「市民の風・北海道」の川原茂雄共同代表が講演し、次期衆院選で野党共闘による政権交代を実現しようと訴えた。

約40人が出席。新型コロナウイルス感染拡大を受け、動画サイト「ユーチューブ」とオンライン会議システム「Zoom(ズーム)」を使って配信もした。川原氏は「8月の横浜市長選では、野党がまとめたからこそ自民党への批判票を集めることができた。

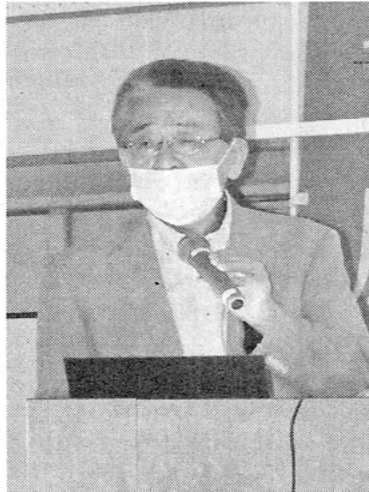
次期衆院選もまとまれば勝てるし、ばらばらでは負ける」と強調。「立憲民主党は(支持母体の)連合と共産との関係で苦労しているが、何とか大きな塊をつくらせて自公政権に立ち向かわないといけない」と述べた。次期衆院選に立候補を表明している立憲民主党道7区総支部の篠田奈保子代表と、同様に立憲民主党道7区共産党釧路地区委員会の石川明美副委員長ら釧路の野党代表者も登壇し、野党共闘の重要性を訴えた。

(五十地隆造)

2021年(令和3年)9月6日(月曜日) 釧路新聞

統一候補の必要性訴え

釧路 市民と野党共闘市民集会



講演する川原共同代表

「市民と野党の共闘でチエンツ国政9.5市民集会」(市民連合@くしろ・ねむろ主催)が5日、釧路市生涯学習センターで開かれ、動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信された。講演や次期衆院選立候補予定者

らの提言が行われ、政権交代のため、市民と野党共闘や統一候補の擁立の必要性を訴えた。

最初に市民団体「戦争させない市民の風・北海道」の川原茂雄共同代表が講演し、8月に立憲民主、共産

社民、国民民主、れいわ新選組の各連連などに次期衆院選で共闘を要請、協議を進めることを確認したと説明。「政策面では合意できると思うが、問題は選挙区調整や選挙協力」とし、現段階で立憲と共産が道内12選挙区のうち6選挙区で競合する見通しのため、候補一本化の必要性を訴えた。続いて、立憲民主党道7選挙区総支部の篠田奈保子代表は「皆さんと連帯して、この社会や政治を変える力にしていきたい」とした。日本共産党釧路地区委員会の石川明美副委員長は「野党共闘は対等、平等であり、お互いに本気の力を出し切るようにすることが目標。一方的に支援することでは力を発揮できない」と述べた。社会民主党釧路支部連合の宮田団代表、新社会党釧路支部の横田厚委員長も提言を行った。

(嶋守善一)



衆議院総選挙における野党共通政策の提言

—— 命を守るために政治の転換を ——

新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の断絶は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道徳と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である。

市民連合は、野党各党に次の諸政策を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめぐすことを求める。

1 憲法に基づく政治の回復

- ・ 安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
- ・ 平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
- ・ 核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
- ・ 地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

- ・ 従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
- ・ 医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの待遇改善を急ぐ。
- ・ コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人々や企業を救うため、万全の財政支援を行う。

3 格差と貧困を是正する

- ・ 最低賃金の引き上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
- ・ 誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し、子育て世代や若者への社会的投資の充実を図る。
- ・ 所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また低所得層や中間層への再分配を強化する。

4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

- ・ 再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する。
- ・ エネルギー転換を軸としたイノベーションと地域における新たな産業を育成する。
- ・ 自然災害から命と暮らしを守る政治の実現。
- ・ 農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する。

5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

- ・ ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別を許さないために選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させるとともに、女性に対する性暴力根絶に向けた法整備を進める。
- ・ ジェンダー平等をめざす観点から家族制度、雇用制度などに関する法律を見直すとともに、保育、教育、介護などの対人サービスへの公的支援を拡充する。
- ・ 政治をはじめとした意思決定の場における女性の過少代表を解消するため、議員間男女同数化（パリテ）を推進する。

6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

- ・ 森友・加計問題、僕を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。
- ・ 日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
- ・ 内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。

2021年9月8日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

上記政策を共有し、その実現に全力を尽くします。

立憲民主党代表

枝野 幸男

日本共産党委員長

志位 和夫

社会民主党首

福島 みずほ

れいわ新選組代表

山本 太郎